

DNC

Daikyo
Nishikawa
Corporation

Business Report

第13期 株主通信

2019年4月1日から2020年3月31日まで

－ トップインタビュー

高機能・高効率を追求し続けます。

- ごあいさつ
- 当期の事業環境と業績について
- 本社／本社工場について
- 中期経営計画の進捗状況
- 第14期(2021年3月期)の見通し
- 配当について

－ 連結財務ハイライト

－ ESGへの取り組み

－ DNCネットワーク

- グローバル事業拠点
- [シリーズ企画] 世界へ挑む
- 韓国関係子会社の社名変更及び移転のお知らせ

－ 製品紹介

- バックドア

－ トピックス

- 精神・発達障害者
しごとサポーター養成講座開講
- 豪雨災害訓練実施

会社概要／会社役員／株主メモ／株式の状況／
株式分布状況／大株主／1株当たり配当金・配当性向／
株主優待のお知らせ／表紙について

Our passion for lightweighting is here as ever.
～果敢に挑戦し続ける～



本社センターピース

業績に関する
Keyword

●新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞

●本社／本社工場による効率化向上

●米国新工場の準備

トップインタビュー

Top Interview



高機能・高効率を追求し続けます。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社における第13期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の
連結業績につきまして、ここにご報告申し上げます。

代表取締役社長 内田 成明

2020年6月

Q 第13期(2020年3月期)の事業環境と業績についてお聞かせください。

A まずは、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々及びそのご家族、関係者の皆様、感染拡大により日常生活に影響を受けているすべての皆様にお見舞い申し上げます。加えて、医療従事者の皆様、行政の皆様、感染拡大防止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

第13期における自動車業界の事業環境は、自動運転技術等をはじめとする安全性向上、環境対応等の技術革新や、IoT※による情報化等への取り組みが一層加速しました。一方、人件費の高騰等が続いており、依然として厳しい状況でした。

当期の連結業績は、新車種での組付け部品の増加等による売上高の増加や国内の小型乗用車への樹脂製バックドア搭載車種拡大がありました。日本、中国、メキシコにおける主要取引先の減産により、売上高は182,219百万円(前年比1.1%減)となりました。営業利益は、日本、中国、メキシコにおける減産影響に加え、本社/本社工場の減価

償却費や働き方改革のための諸施策にかかる費用、米国新工場の準備費用により、8,995百万円(前年比38.5%減)、経常利益は9,500百万円(前年比36.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,907百万円(前年比52.8%減)となりました。

※ IoT…Internet of Things

Q 本社/本社工場の、移転/稼働後の変化についてお教えください。

A 本社工場は2019年5月から一部ラインで稼働を開始、本社及びR&D拠点は2020年1月から新本社での業務を開始しています。

本社工場は、フレキシブルな一貫生産ラインの設置により、作業ロスの削減を実現しました。さらなる効率化を狙い、自動化やロボット化を進めているところです。また、オフライン トライアルセンターを設置し、開発精度の向上や、作業の効率化、作業環境の改善を図っています。

本社は、「風通しの良いコミュニケーションの推進」をコンセプトにしており、各部門の仕切りをなくすなどの設計で、開放感や一体感を生んでいます。機能の集約により

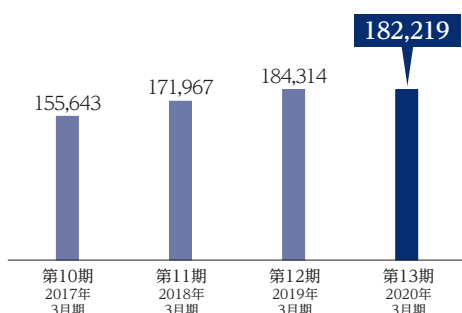
ロスが削減でき、開発から生産まで一貫したものの造り体制の構築は、業務のスピードアップに繋がりました。ダイバーシティ対応も推進しており、働きやすい環境を整備しています。また、今号の表紙に写真を掲載させていただきましたが、1階エコボイドには当社が脈々と受け継いできたチャレンジスピリットの原点ともいえるセンターピースを設置しました。これからも初心を忘れることなく、ぶれないしっかりとした軸を持ち続け、常に前進していこうと社員

の士気を鼓舞しています。
R&D拠点も、営業部門、技術部門、開発部門といった各部門との連携が強化され、開発スピードやレベルが向上し、face to face

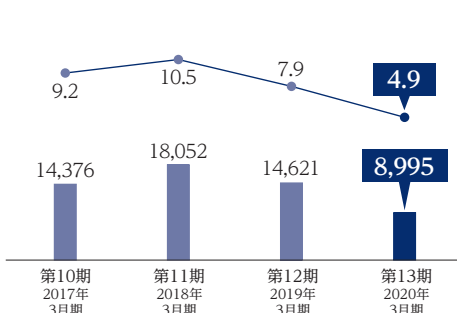


連結財務ハイライト

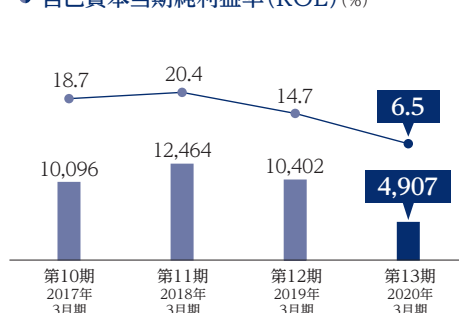
■ 売上高 (百万円)



■ 営業利益 (百万円) ◆ 売上高営業利益率 (%)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) ◆ 自己資本当期純利益率(ROE) (%)



トップインタビュー

Top Interview

の円滑なコミュニケーションが取れるようになりました。研究施設の新設により、開発分野が拡大し、実験精度もさらに向上しています。また、作業環境も改善しました。

本社／本社工場では、環境負荷の少ない高効率エネルギー管理を導入し、周辺地域の環境保全にも配慮しています。

今後は、広島地区の拠点の集約化をさらに進め、移動時間・物流のロス削減や、倉庫などの賃借料といった固定費の削減、生産性の向上等、さらなる効率化に取り組んでまいります。

Q 中期経営計画1年目の進捗状況について教えてください。

A 現在の中期経営計画に掲げる5つの戦略に基づいた諸施策を、着実に推進しています。具体的な取り組みとしては、研究開発面においては、外装部品での質感向上や、軽量かつ剛性の高い製品、内装部品では、質感向上に加え、電装部品との融合により機能を向上させた製品等、新たな価値の創出や付加価値の高い軽量樹脂製品の研究開発、環境にやさしい新素材の研究に取り組んでいます。

また、既存プロセスの生産性改善や人材育成、人材確保をはじめとする働き方改革も進めています。

Q 第14期（2021年3月期）の見通しについて教えてください。

A 世界的な感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症の影響により、当社の主要販売先をはじめとする日系自動車メーカー各社における販売台数の減少に伴い生産が減少しています。当社においても、売上の減少や感染症拡大防止の対応によって収益悪化の可能性がありま

す。当社では、2020年3月2日及び4月24日にホームページに掲載したとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に、時差出勤やテレワーク等の導入、また、4月27日から5月1日までの5日間は国内全拠点の休業を実施しました。

このような状況を受け、現段階において新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから、連結業績予想につきましては未定としています。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

中期経営計画につきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループ事業への影響を慎重に見極め、経営指標の見直しを行います。

世界が未曾有の苦境に立たされており、回復の兆しが見えるまでには時間を要するかもしれませんが、当社といたしましては、困難に屈することなくひたむきに最大限の



努力をしてみたいと思いますので、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

Q 配当について教えてください。

A 株主様への利益還元につきましては、安定的・継続的な配当を行うことを基本とし、業績、配当性向などを総合的に勘案することとしております。

第13期の年間配当につきましては、1株当たり30円の配当を実施いたしました。

第14期の配当予想につきましては、現時点では未定とし、業績予想の開示が可能となった段階で、配当予想も併せて公表いたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



詳細は当社のホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。

<http://www.daikyonishikawa.co.jp/jp/ir/index.html>

こちらのQRコードからもアクセス!



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

ESGへの取り組み ~本社／本社工場の省エネについて~

昨年度稼働を開始した本社／本社工場では、自然光や自然換気といった環境に配慮した自然エネルギーを利用した様々なシステムを導入することで、高効率の省エネを実現し、CO₂排出量の削減※に貢献しております。

※本社でのCO₂排出量は、前年比60%減の見込み。

- 太陽光発電パネルの設置
- 地中熱の利用
- 自然換気システムの採用
- 雨水の利用
- GHP(ガス・ヒートポンプ・エアコン)導入
- LED照明の採用
- Low-Eガラスの使用

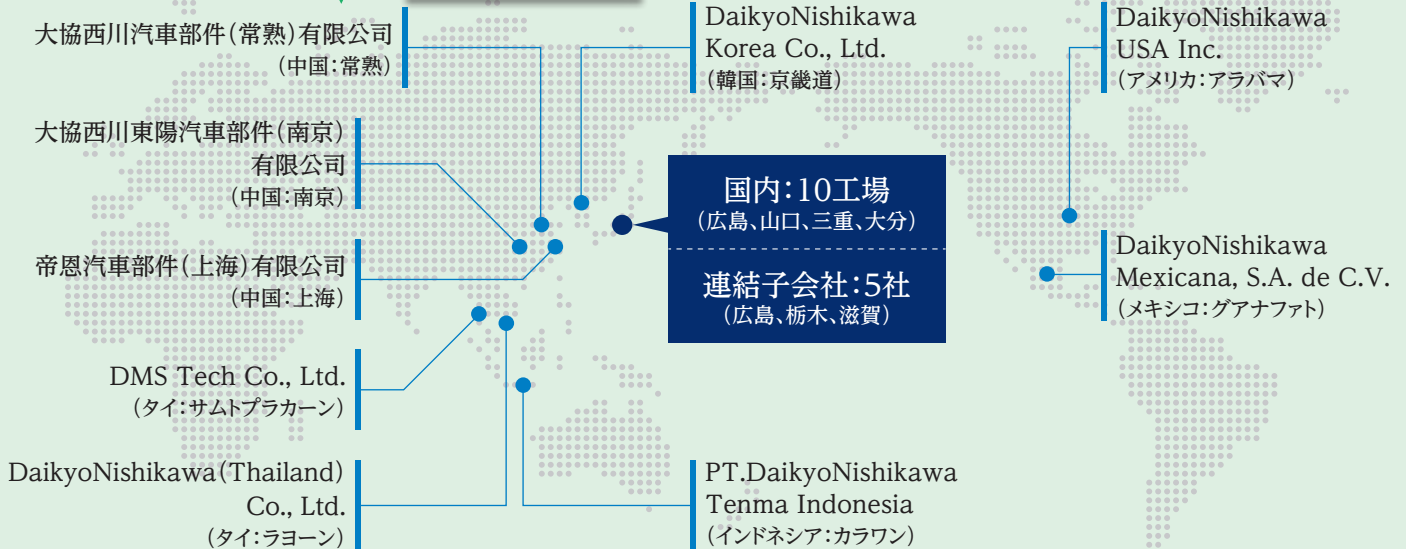


DNC ネットワーク

DNC Network

●グローバル事業拠点

シリーズ企画
世界へ
挑む

2021年
生産開始
予定


※上記の他に、連結子会社2社、持分法適用関連会社2社があります。

シリーズ企画
世界へ
挑む

【中国:常熟】大協西川汽車部件(常熟)有限公司
DaikyoNishikawa Auto Parts (Changshu) Co.,Ltd. (DNAP)

ストレスを前へ進む原動力に変え、仲間と共に明るい未来創りを。

DNAPは、2010年11月に設立された会社で、オイルストレーナーなど主に自動車のエンジンルーム部品を作っています。

DNAPがある常熟市は、上海から車で2時間程度と立地の良いところで、日系企業も多く進出しています。常熟の地名の由来は豊かな土壌があることからきており、歴史も古く、呉文化発祥の地の一つで、中国の国家歴史文化名城に指定されています。世界初の「国際湿地都市」でもあり、自然美にあふれた観光地も多く、尚湖や虞山、沙家浜などが有名です。



DNAPは人を大切にし、人材教育に力を入れている会社で、私は成形技術や金型のメンテナンスなど多くの知識やスキルを習得することができました。研修で日本にも行かせてい

製造部 成形課 係長 (2011年入社)
周 平

ただきましたが、空気がきれいなことに驚きました。桜の美しさは、今でも鮮明な印象として残っています。

以前から射出成形に興味があっ

たので、今の仕事は自分に合っていると思いますし、同僚とのコミュニケーションも良好で、毎日が充実しています。仕事のストレスを感じることもありますが、ストレスを前へ進む原動力に変えて、ベストを尽くして取り組んでいるので、達成感もあります。これからも「チームのために考える」をモットーに、より多くの研鑽を積んで、心を込めた仕事をし、会社の明るい未来を仲間と共に創っていきたいと考えています。



韓国関係子会社の社名変更及び移転のお知らせ

GP Daikyo Korea Co., Ltd. は、2020年1月1日付で社名を DaikyoNishikawa Korea Co., Ltd. に変更するとともに、京畿道 安養市 東安區 LS 路 122、712号に移転いたしました。

製品紹介

Product Introduction

視点を变えた発想で、さらに美しく進化 バックドア

樹脂製バックドアの特長として、軽いことや、成形自由度の高さを活かしたデザインの多様性などが挙げられます。これまでは部品単体の視点で、より軽く、樹脂ならではの強みを活かした「個別最適」に重きを置きがちでした。しかし、バックドアは車体構造の一部であるため、当然のことながら「全体最適」が求められます。安全性や耐久性はもちろん、力のかかり方や、周辺部品に与える影響を解析し、車全体視点でのベストを目指しました。

ユーザー目線での使い勝手の良さも重要です。使う人それぞれの開閉動作、開け閉めする際のドアの重さなど、多様な使用状況を細かく検証し、チーム内でアイデアを出し合い、時には意見を戦わせながら、試行錯誤を重ねました。

これからもユーザーの使いやすさを最優先に考え、より美しさに磨きをかけ、さらに進化していけるよう取り組んでまいります。



バックドアとは

バンやワゴンタイプの車の後部荷室のドアです。リアゲート、テールゲート、リアハッチ、リフトゲートなどと呼ばれることもあります。

開発担当者が語る

ココに 注目!


開発本部
濱中 信行

昨年11月に発売された、ダイハツ工業の新型コンパクトSUV「ロッキー」のバックドアは、シンプルでスタイリッシュなデザインを実現しています。隙間や段差のわずかな誤差にも妥協することなく、違和感のない流線を徹底的に追求し、美しさを極めました。軽さはもちろん、開閉のしやすさ、ドアハンドルの持ちやすさにも配慮し、随所に使う人にやさしい工夫を凝らしています。チームの知恵と技術の粋を集めた「これぞ自信作!」と言えるバックドアです。

トピックス

Topics

1

ダイバーシティへの取り組み 精神・発達障害者しごとサポーター養成講座 開講

厚生労働省では、「障害があっても、その特性を踏まえ、希望や能力、適性に応じて活躍できることが普通の社会」、「障害者と共に働くことが当たり前の社会」を目指して、職場における精神・発達障害のある方を支援する職場環境づくりの推進に向け、2017年9月から精神・発達障害者しごとサポーターの養成講座を全国各地で開催しています。

精神・発達障害者しごとサポーターとは、精神・発達障害についての正しい知識と理解を持って、精神・発達障害のある方を温かく見守り、支援する応援者です。

当社でも障害者雇用への取り組みを進めておりますが、「日常的な関わり方がわからない」「どう声掛けをしたら良いのかわからず、指導や注意をためらってしまう」といった声もあり、出前講座をハローワークに要請し、開講の運びとなりました。2020年2月7日を皮切りに、障害の特性や、同じ職場の仲間としての日常的な配慮のポイント等を学んでいます。受講者は、ロゴマークを使用して「精神・発達障害者しごとサポーター」として意思表示を行います。障害があってもなくても1人の同僚として、「できないこと」ではなく「できること」に目を向け、誰もが尊重され活躍できる安全で働きやすい職場づくりを推進してまいります。


意思表示用
ロゴマークシールとストラップ

Topics

2

リスクマネジメント活動 豪雨災害訓練を実施

2年前の「平成30年7月豪雨」では、広い範囲で土砂崩れや河川の氾濫が発生し、西日本を中心に各地で甚大な被害に見舞われました。当社でも、火災や地震を想定した避難訓練は定期的に行って



ましたが、豪雨に対する取り組みは希薄であったため、いざ災害に直面してみると、初動対応やマニュアルの不備などが露呈し、日頃の訓練の重要性や、さらなる防災意識の向上の必要性を痛感しました。この反省を活かし、再びいつ発生するとわからない災害に備えるべく、去る12月9日に豪雨災害訓練を実施いたしました。

当日は、コンサルタント会社サポートの下、大雨警報発令1日前から災害発生5日後までを想定し、刻々と変化する状況に迅速かつ適切に対応する訓練を行いました。情報収集や避難指示のロールプレイを通じ、数多の課題が浮き彫りとなり、早急にマニュアルの見直しを行い、対応策を追加するなど、実りある訓練となりました。今後も定期的に訓練を実施し、防災への取り組み強化に努めてまいります。

● 会社概要

(2020年3月31日現在)

社 名	ダイキョーニシカワ株式会社
本 社	広島県東広島市寺家産業団地5番1号
設 立	2007年4月1日
資 本 金	54億2,665万3,900円
従 業 員 数	5,432名(連結)

● 会社役員

(2020年6月19日現在)

代 表 取 締 役 社 長	内 田	成 明
代 表 取 締 役 副 社 長	野 口	悟
取 締 役 専 務 執 行 役 員	桧 山	俊 夫
取 締 役 専 務 執 行 役 員	錦 村	元 治
取 締 役 専 務 執 行 役 員	和 木	深 水
社 外 取 締 役	出 原	正 博
社 外 取 締 役	佐 々 木	茂 喜
社 外 取 締 役	向 井	武 司
常 勤 監 査 役	繁 元	則 彦
社 外 監 査 役	安 村	和 幸
社 外 監 査 役	清 宗	一 男

● 株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
剰 余 金 の 配 当 の 基 準 日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 事 務 取 扱 場 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777(平日9:00 ~ 17:00)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公 告 掲 載 方 法	電子公告 http://www.daikyonishikawa.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待のお知らせ

当社は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単位(100株)以上を保有されている株主様を対象とした株主優待制度を導入しております。株主様が保有する保有期間に応じて、QUOカードを贈呈いたします。

詳細につきましては、当社HPでご確認ください。
<http://www.daikyonishikawa.co.jp/jp/ir/memo.html>

こちらのQRコード
からもアクセス!

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

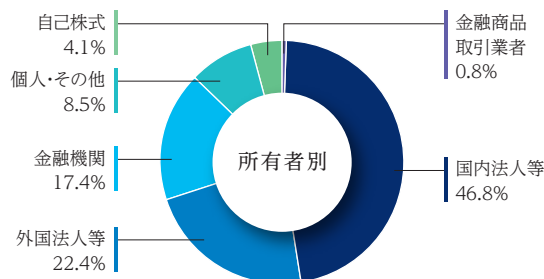


● 株式の状況

(2020年3月31日現在)

発 行 可 能 株 式 総 数	236,704,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	73,896,400株
単 元 株 式	100株
株 主 数	9,849名

● 株式分布状況

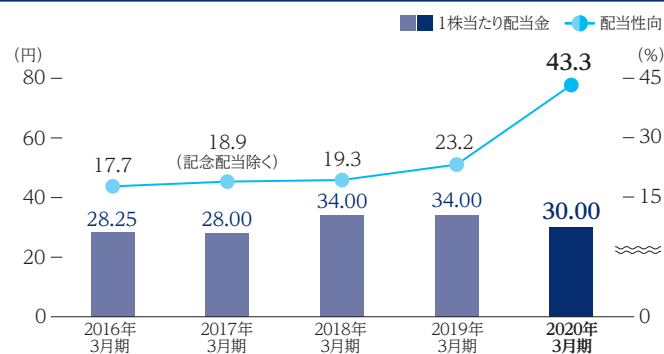


● 大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
西川ゴム工業株式会社	11,835,200	16.7
株式会社イノアックコーポレーション	3,924,600	5.5
三菱商事プラスチック株式会社	3,924,600	5.5
住友商事株式会社	3,573,680	5.0
株式会社広島銀行	3,541,800	5.0
マツダ株式会社	3,541,800	5.0
三井物産株式会社	3,222,720	4.5
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,091,100	4.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,760,600	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,704,900	3.8

(注) 当社は、自己株式3,042,930株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

● 1株当たり配当金・配当性向



※2016年1月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。上記は株式分割後に換算した数値を記載しております。

表紙について

本社センターピース

1992年に発売されたAutozam AZ-1は、FRP(繊維強化プラスチック)製ボディパネルを採用した革新的な超小型スポーツカーで、合併前の当社も内外装樹脂部品開発に参画していました。本社落成にあたり、当社の軽量化へのチャレンジの“原点”とも言えるこの車と当社が開発に携わった部品を本社1階に展示しております。軽量化に対する情熱を絶やさず、当社の軸として引き継いでいこうという強い意志と熱い想いが込められています。



ダイキョーニシカワ株式会社
TEL: 082-493-5610

